

# 棚田に吹く風

2024  
**秋**  
Autumn  
季刊

2 特集

棚田酒を扱う酒屋＝棚田酒屋は  
どうして生まれたか？

5 フォトエッセイ

棚田の愉しみ

6 棚田・里山からのたより

遥かに豊前海を望む「天空の棚田」

福岡県京都郡苅田町等寛寺地区

8 棚田BAR

生きものの屋の里山考

9

棚田博士は今日も行く  
八溝山地西麓の谷地田型棚田  
栃木県那珂川町小砂

12 読者のひろば

14 棚田俳壇

スタッフのつ・ぶ・や・き

15 Project Report



日本初!!

## 棚田酒を扱う酒屋Ⅱ棚田酒屋は

### どうして生まれたか？

聞き手 棚田ネットワーク酒担当

大久保 芳洋

東京・日本橋久松

町にある「大黒屋深沢 sake たらす」は、西郷三央<sup>ともよ</sup>さん・英一さんご夫妻が経営する角打ち酒屋。4年前にオープンした新しいお店で、品揃えは日本酒をメインとした各地のこだわり銘柄。

“角打ち”とは、お

店で購入したお酒をその場で飲むスタイルのこと。おちょこ一杯から飲めるので、酒好きにはたまらない。店名の「てらす」の部分は、ライステラスⅡ棚田の意味が込められており、棚田のお米で造ったお酒Ⅱ「棚田酒」も並んでいる。

知ってもらわなければ始まらない…駆け回って、見つけて、伝える酒屋

—まるで隠れ家のようなお店ですが、4年前にオープンって、コロナ禍が始まったばかりの頃ですね？

そうなんです。いろいろな経緯があつてその時期になってしまいました。が念願の自分たちのお店を出せました。どうなることかと思つたのですが、何とか続けられています。

—そもそも10〜20年ぐらい前から、小規模な酒屋さんはスーパーや大型店に押されて売り上げが落ち、差別化しないと生き残れない時代になりつつあつたと思うのですが。

私たちの母体である新橋のむらまつ酒商類では、試飲イベントや角打ちをいち早くスタートし、“飲んで楽しめる酒屋”に特化してきました。店を運営する上で大切にしたいのが“伝える”ことなんです。的確な情報を得るためにお酒の製造現場をめぐり、造り手に会い、その思いを自分の言葉で伝える。酒蔵だけでなく、酒米を作る田んぼにも、食と文化をめぐる地域そのものにも足を運びました。

主人が車好きで、長距離ドライブが全く苦でなかったし、時には私が単独で夜行バスに飛び乗って出かけることもありました。「マグロ」に似ているかも。泳いでいなければ、動き回っていなければ呼吸ができない(笑)。出会いを探して日本中を駆け回っています。

西郷さんご夫妻と大久保の出会いから東京ビッグサイトのエコプロ展へ

—出会いは柏崎でしたね。

そう！新潟県柏崎市・夢の森公園のイベント。公園の10周年を祝う限定酒を作るために、



西郷夫妻と聞き手の大久保

## 棚田酒を扱う酒屋＝棚田酒屋は どうして生まれたか？



2017年、初のエコプロ出展



棚田の只中で

お米からお酒までの作業を1年間通して参加するものでした。メンバーも1年を共にして意気投合し、今も親しくお付き合いしている方がいます。

—あの出会いのおかげで、エコプロ展の棚田酒イベントが可能になりました。

それまで「棚田」というワードは特に意識していなかったのですが、各地で見てきた原風景を象徴する大切な共通点として俄然興味が湧きました。せっかくなので、イベントの前に千葉県鴨川市の大山千枚田を訪問しました。催し物も何もない、稲刈り後の普通の田んぼだったのですが、偶然雲の隙間から光が差して、輝く棚田の風景に感動したんです。「これだ！」と。棚田の神秘的なまでのパワーを感じ、お酒を通して棚田に関わっていくことを決めました。

2017年12月、「棚田・里山酒の陣※」が誕生！

※翌年からは「棚田・里山 酒めぐり」

—大盛況でした

棚田コーナーにブース出展している地域から地元のお酒を集め、ブースは出していないけれど棚田酒のある地域からも仕入れました。念願のお酒の販売や試飲も会場で実現し、多くの棚田酒ファン、新しい棚田ファンが生まれる予感がありました。

前の晩、準備中の棚田ブースを見た時、屋内でしかも夜だったのに、大山千枚田で感じたのと同じ、まるで光が降り注いでいるような感覚があったんです。何か、棚田そのものが持つパワースポットとしての魅力が会場に現れたようで、棚田に関わっていく使命をこの光に感じました。

—毎年の人気企画になりましたね。コロナ禍で2年ほど休みましたが、復活しました。

試飲で飲み比べができるので、毎年楽しみに来てくれる人もいます。

出会いが嬉しい

—上勝開拓団のどぶろくに会ったときは嬉しかったですね！

徳島県上勝町の地域おこし協力隊員から新作どぶろくが届いたので、sakeてらすで試飲してみると、これが美味！ラベルに製造元の携帯番号が書いてあるものだから、



### ❖ Sakeてらす取り扱いの棚田酒 ❖

| 棚田エリア  | お酒の名前       |
|--------|-------------|
| 鴨川(千葉) | 「棚田の舞/棚田物語」 |
| 姨捨(長野) | 「棚田」        |
| 上勝(徳島) | 「上勝」「つきのみ」  |
| 周南(山口) | 「泣かす酒」      |
| 内子(愛媛) | 「千代の亀」「媛酒」  |





その場でかけてみたら、なんと繋がるじゃありませんか！「飲んだ勢いで電話してみません、当方は東京の酒屋です、棚田地域のお酒を扱って棚田を応援したいと思っています、ぜひこのどぶろくを扱わせてください！」「いいね！是非！こっちも今飲んでるから、詳細は後日」というやりとりがあり、取扱いを始めました。今、どぶろく通の常連客にも人気です。

—今年初めて「下町そぞろマルシェ@蔵前」にも出店されました

ご近所・台東区蔵前のイベントにお声かけいただきました。テーマが「地域と地球にやさしい」だと聞いて、これしかない！と「棚田酒」の試飲販売ブースを出しました。ささやかな TENT でしたが、来ていただいたお客さんに「棚田」という視点で地域の原風景を意識することや、その棚田のお米で造った「棚田酒」が各地にこんなたくさんあるんだ、と知っていただき、なにより美味しいと大好評。新たな棚田ファンが生まれ、イベントも盛り上がりました。

あらためて、棚田酒への思い

—なぜ棚田のお酒を紹介しようと思ったんですか？

棚田のお米で造られたお酒は、本当に良質なものが多くいます。棚田の風景の美しさもそうですし、棚田を守るために、みんなが自分にできることをやれたらいい。そして、私にできることはこれなんです。

棚田の素晴らしさも、棚田が耕されずに消えていく現状も、これまで知りませんでした。だからもっとたくさんの人に知ってほしい。酒屋にできるのは、棚田のお酒を通して酒好きの人に知ってもらうこと。

一方で、新しい棚田のお酒もどんどん出てきていて、クオリティも増しています。商品を楽しんでもらいたいし、造り手の想いも伝えたい。

—これからも期待しています

はい！棚田地域の皆さんから情報をお待ちしていますし、気軽に立ち寄っていただける場になればと思います。是非お店に足を運んでくださいな。

■店舗紹介

大黒屋深沢 sake てらす  
<https://saketerasu.raku-uru.jp/>



株式会社 村松仙翁 むらまつ酒商類  
<http://www.sen-ow.co.jp/shushorui/>



「下町そぞろマルシェ@蔵前」に出店



大阪、奈良、和歌山の府県にまたがる雄大な金剛山・葛城山連山を背景に「下赤阪の棚田」は黄金色に輝き実りの秋を迎えます。田起こしから水張り・草取りなどいくつもの作業を重ね大切に育てた稲が頭を垂れています。「棚田まもりたい」のメンバーやサポーターの人たちは段差のある畦を上り下りしながら収穫作業に汗を流すなど一年のうちで最も活気にあふれた時期です。時には大事に育てた稲がイノシシに荒らされたり、ある年はイモチ病にやられたりと悔しい思いをしたこともあります。

「棚田まもりたい」では、一番大きな田に「もち米」を植え、そこで収穫したお米で年末には「もちつき大会」をします。近所の人や子供たちもたくさん参加し収穫の喜びを分かち合います。

## 棚田の

## 愉しみ

写真・文  
玉井 質

フォトエッセイ

玉井 質 たまい ただし



1941 香川県生まれ  
日本リアリズム写真集団所属・大阪府在住

### ■個展

- 2005 「私の大阪城」ギャラリー福寿草
- 2006 「私の大阪城」メディアラボNEXT豊中店
- 2007 「悠久の大地―雲南」メディアラボNEXT豊中店
- 2007 「悠久の大地―雲南」ギャラリー福寿草
- 2010 JRP連続展「悠久の大地―雲南」喫茶トリービビット
- 2011 JRP連続展「悠久の大地―雲南II」喫茶トリービビット
- 2015 JRP連続展「私の大阪城」茶白山画廊
- 2023 「慰霊の時 ヒロシマ」アート・スペース・わ

### ■写真集

- 『私景 大阪城マンダラ』 2018 (株)日本機関紙出版センター
- 『棚田の愉しみ』 2021 うめだ印刷(株)
- 『東チベット高原に行く』 2022 うめだ印刷(株)
- 『慰霊の時 ヒロシマ』 2023 うめだ印刷(株)



棚田・里山  
からの  
たより



## 遙かに豊前海を望む「天空の棚田」 歴史ある山里で持続可能な取り組みの形を探す

### 修験の里に残る 「等覚寺の棚田」

福岡県京都郡苅田町の山あいにある小さな集落「等覚寺」。標高約300mに位置する棚田の風景は、平成4年に農林水産省から「農村景観百選」に選ばれました。この地区はかつて修験道が栄え、今も山伏の末裔達が暮らす集落でもあります。毎年4月に白川多賀神社境内で行われる春の祭礼「等覚寺の松会」は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。また、地域の女性で加工所を運営しており、ここで作る松会味噌や味噌漬は町の特産品としても人気です。

町中心部から20分ほどの距離ながら、隣町を眼下に望み天気の良い日は豊前海や大分方面まで見渡せるその展望は抜群です。近年は、棚田に3mほどの「天空のプランコ」や「どこでもドア」を設置し、若者や家族連れの来訪が増えました。

### 棚田保全の現在

福岡県京都郡苅田町

8軒15人が暮らす等覚寺地区。30年以上前から休耕田が増えてきましたが、住民と地域外からのボランティア「等覚寺応援団」の活動により景観が保たれてきました。しかし、近年になると住民も応援団も高齢化で現在動ける人が少なくなっていました。棚田の稲作もここ数年で一気に少なくなり、今年は作付け面積で5反ほどとなっています。等覚寺の棚田は、区画整備や水路構築がされておらず、トラクターも入りません。手押しの耕耘機で田起こしかから代掻きまで行い、2条植えの田植え機、1条刈りのバインダーで収穫し、ハーベスターで一束ずつ脱穀を行います。人手のかかる昔ながらの稲作の大変さに加え、年々拡大する鳥獣の被害もあり安定した収穫も難しいなか、数名でなんとか維持している状況です。

毎年増えていく休耕田では、蕎麦栽培、コスモスやひまわり、旅する

1：棚田収穫前／2・3：棚田の家族田植え／4：稲刈り脱穀



蝶々「アサギマダラ」が来るフジバカマの花を育て、魅力のある景色を創りながら棚田の景観保全に努めています。

## 産学官が協働で棚田保全に取り組む

地域での棚田保全が難しい状況を受けて出来たのが「等覚寺地区景観保全協議会」です。平成25年に設立したこの協議会は、地域を中心に町役場やボランティア団体を主要メンバーとして、産学官連携での棚田保全の活動を行っています。

トヨタ自動車九州(株)による花の種まきや道掃除、福岡県の中山間応援サポーター制度の取り組みで蕎麦栽培や果樹の剪定、西日本工業大学とはドローン撮影による棚田の3Dマップを作成し耕作面積や土地耕作者をデータベース化する取り組みをしました。

令和5年度からは地域や応援団のさらなる過疎化高齢化に対応するため、月1回の定期棚田保全活動を行う体制を作り、現在も関わる団体を増やすよう働きかけをしています。

## イベントを通じて仲間を呼び込む

農業体験イベントも定期的に行っています。家族での田植えや稲刈り、野菜の収穫、蕎麦を種から育てそばを打つまでの「大人のそば育」は人気講座です。不定期開催するマルシェや、毎年秋に行う「棚田まつり」等、訪れてもらう機会を増やす活動もしています。

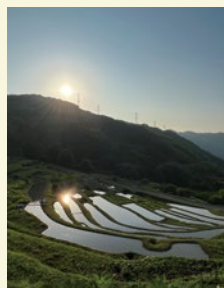
現在力を入れているのは、SNSでのボランティア募集です。今年は稲作の助っ人をSNSで呼びかけ、近隣の町から20人以上の人が手伝いに来てくれました。公式ラインを作り、定期的な活動情報発信等、集落にとっても参加する人にとっても継続できる取り組みの形を模索中です。

## 「町から一番近い天空の村」と棚田を守る

今回、文章を書かせていただいた私は、「地域おこし協力隊」として移住し10年目になります。棚田保全の旗振り役をする中で、いかに地域外の人を継続的に巻き込んで活動していけるかの手腕を今まで以上に試さ

れていると感じています。

棚田どころか集落としての維持が難しい状況で課題はたくさんありますが、町から1時間以内で訪れることが出来る「地の利」と棚田を含めた集落の景観を活かして、ボランティアだけでなく経済を生む活動も行い、この小さな村と棚田を守っていけるようこれからもチャレンジを続けてまいります。(等覚寺地区景観保全協議会 事務局 藤田 紫)



棚田の水鏡

## ■ 棚田へのアクセス

【公共交通】 JR日豊本線・苅田駅または行橋駅前からタクシー利用でどちらの経路も約20分

【自動車】 東九州自動車道・行橋ICから県道255号を北上して棚田に至る。ICより8km

## ■ お問い合わせ

Instagram:  
天空アグリBASE“とかくじ”@福岡  
<https://www.instagram.com/tokakujidayori/>



1: 蕎麦の種子まき / 2: 蕎麦の花と彼岸花 / 3: 蕎麦収穫と掛け干し

4: 特産品 松会味噌・松会漬

# 棚田BAR ~棚田里山酒めぐり~



書き手:  
大久保芳洋

## 信州棚田BAR @稲倉の棚田CAMP

絶景を肴に呑み比べる

長野県上田市・稲倉の棚田の「棚田CAMP」は、本誌でも紹介してきたのでご存じかと思います。直近の本年4月のキャンプ開催時は、日本酒の呑み比べができるコーナーが登場しました。長野県内の棚田のお米を使った日本酒、という縛りで6種類のお酒が集結。名付けて「信州棚田BAR」。本来は珍しい棚田のお酒が、県内産だけでこれだけ集まる長野県はさすがです。また、これら全ての棚田で地域ごとに特色ある酒米品種が栽培されているのも驚きです。

さらに、お隣の東御市・ヴィラデストワイナリーさんに、棚田CAMPを応援していただき、赤、白、ロゼを各1本、ラインアップに追加。同じく信州縛りでワインも楽しめることに。

キャンプの夜が更け、ゆっくりとした時間を過ごす中で棚田酒を味わう贅沢。目の前には上田市の夜景とアルプスに続く山並み。全種類のテイastingを終えた参加者のみなさんに聞くと、やはり当地、稲倉の棚田の「亀齢」が人気ナンバーワンでした。「亀齢」の酒粕を使った玉ねぎポタージュスープと甘酒、スペシャルティコーヒーなどの、暖かいメニューの提供もありました。

季節変わってこの秋も、稲倉の棚田ではオーナーたちが育てた酒米、ひとごこちが無事収穫されました。そして仕込みのシーズンが到来します。来年春の棚田CAMPでまた最高のひとときを過ごせるよう、今から楽しみになっています。最新情報はウェブサイト  
<https://www.tanada-camp.com/>  
でチェック。



- ・上田市 稲倉の棚田 「亀齢」岡崎酒造(ひとごこち)
- ・千曲市 姨捨の棚田 「棚田」長野銘醸(ひとごこち)
- ・小谷村 小谷村棚田群 「小谷錦」北安醸造(しらかば錦)
- ・伊那市 山室の棚田 「やまむろ」仙醸(ひとごこち)
- ・中川村 飯沼の棚田 「おたまじゃくし」米澤酒造(美山錦)
- ・飯田市 よこね田んぼ 「燕」喜久水酒造(たかね錦)

Tanada BAR

## 生きものの屋の 里山考

文・写真 (株)環境指標生物 長池 智久

### 里山にハマるトンボ

カトリヤンマというトンボがいます。「蚊とり」という名前からつい期待してしまいがちですが、残念ながらカトリヤンマを観察していると蚊にたくさん刺されます。

蚊がいなくなるほど食べている訳ではなさそうです。しばしばユスリカ(刺さない蚊の仲間)の蚊柱をかすめるような飛び方をして採餌するので、そうした行動から名前がついたのかも知れません。

カトリヤンマは、稲刈りの後、イネの株元や畦などの土中に産卵します。卵は春に田んぼに水が入るとかえります。このとき、代掻きによって土がかき混ぜられることで、卵が土の表面に出て光にあたる必要があります。幼虫(ヤゴ)は田んぼの中でミジンコやオタマジャクシなどを食べ、やがて成虫(トンボ)になります。このように、その生い立ちは田んぼの営みによくハマっています。

しかしながら、田んぼの上を飛んでいる姿をあまり見かけられることはありません。成虫はとてもシャイで、ふだんは近くの藪や林で生活しているうえ、早朝や夕方、雨が降りそうなくらい曇った日中など薄暗いときに活動しています。

里山のトンボの「代表」といえばアカアカネ(アカトンボの仲間)がよく挙げられますが、カトリヤンマも劣らず里山と関わりが深く、目立たないがゆえに通好みのトンボといえるかも知れません。



畦で産卵するカトリヤンマ

# 棚田博士 は 今日も行く!

中島峰広の  
全国棚田行脚

## 八溝山地西麓の谷地田型棚田

栃木県那珂川町小砂



なかしま みねひろ  
中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO  
法人棚田ネットワーク名誉代表。全国棚  
田(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミ  
ット開催地選定委員会委員長。1933年  
宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地  
歴科卒。2004年まで早稲田大学教育  
学部教授。著書に『日本の棚田—保全へ  
の取り組み』『百選の棚田を歩く』『続・百  
選の棚田を歩く』『棚田 その守り人』(以  
上、古今書院)。現在、百選外の棚田に  
ついての執筆準備のため全国行脚中。

那珂川町は県の東部、茨城県に接し、町域は大部分、谷地田の巣といわれる八溝山地に占められる。難読地名の「小砂」は町の北西端、役場のある中心市街地から8km北に位置し、小砂焼の窯元がある集落として知られている。

2023年11月初旬、小砂を訪ねる。東京から新幹線「なすの」に乗車、宇都宮で普通列車に乗り換え、さくら市になった氏家で下車する。氏家からは那珂川町の中心市街地「馬頭」まで関東バスが連絡している。平日7便、土・日4便の運行は棚田地域では便利な方だ。バスは水田が広がる沖積地と林野や畑で占められる丘陵地が交互に現れる田園地帯を東へ向かい、かつて旧町村の中心市街地であった喜連川、小川を通過、那珂川に架かる若鮎大橋を

渡れば「馬頭」の市街地である。

市街地の中心から氏家方面に向かい、道の駅近くの北向田の交差点を右折、那珂川に合流する小口川の谷底平野を走る県道27号を北上、7kmほど走った地点に小砂はある。

### 圃場整備された 谷地田型の棚田

小口川に流入する小河川の谷は小砂同様、ことごとく谷地田型の棚田が拓かれており、そのありさまは八溝山地南端、谷地田型棚田の卓越地である茂木町に似ている。

小砂の棚田も小口川の支流、仲郷沢川の谷間にある谷地田型である。かつては棚田と呼ばれず、茂木町同様谷地田と呼ばれていたようだ。谷地田をかぎる低い丘陵にはスギが植えられ、南面するスギ林を背後に

して、集落の家屋が谷沿いに長く並んでいる。農水省の個票によれば、傾斜20分の1、面積9・4ha、枚数74枚とある。現在の形状は昭和末期に団体営事業により圃場整備されたもので、この時に不規則に拓かれた小さい谷地田4〜5枚が整然とした棚田に整備されたようだ。

仲郷沢川が小口川に合流する谷の入口付近は150mほどの幅があるため、一枚がたて20m、よこ100m、20mの棚田が拓かれており、平地水田にも劣らない堂々たるものだ。しかし、当然奥に進むに従い幅は狭くなり、中央部で50m、最奥部では30mほどになる。法面は土

坡、高さは1<sup>メートル</sup>以下、よく草が刈られていたため整然とした感じを受ける。

## 小砂Village協議会

現地では、馬頭から小砂まで送迎して下さった「小砂Village協議会」の事務局長藤田悦男さん69歳にお会いした。家族は奥さんのほか上三川町の日産自動車に自家用車で1時間かけて通勤する長男と嫁、孫2人と同居、長男は自慢の息子で明治大学3年生の時、箱根駅伝の最終10区を走ったマラソンランナーだったそうだ。

藤田さんは地元の馬頭高校を卒

業後、陸上自衛隊に入隊、長野県松本市に2年間駐在した後、除隊して帰郷、馬頭町役場に入庁、企画財政課長などを務め60歳の定年で退職した。入庁後、父親の農作業を手伝う兼業農家になった。水田1・7<sup>ヘクタール</sup>、畑50<sup>アール</sup>を所有、かつて畑では葉たばこを栽培していたそうだ。機械類はトラクター32馬力、6条植田植機、2条刈コンバイン、糶摺機、乾燥機など所有している。

しかし、5年前に水田は中間管理機構を通じ認定農業者に委託、地代として30<sup>千円</sup>詰めで34袋を受け取っているという。草刈りは地主の仕事とされているため、70<sup>アール</sup>分について

は4・6・8・9月の4回、1回につき5日を要する作業を担っている。残り1<sup>割</sup>については草刈作業も委託しているそうだ。

## 棚田オーナー制度の取り組み

地域としての取組みは、特徴ある棚田オーナー制を平成24年から実施している。料金3万円、田植・草刈・稲刈・収穫祭の年4回の体験、玄米30<sup>キロ</sup>を提供するというもの。地元の受入れ農家は50歳代2戸、60歳代7戸、70歳代2戸、80歳代2戸の13戸の夫婦。募集は役場が行い、基本的には10組、2023年は11組、39人を受け入れた。

特色あるのは各戸が1組ずつのオーナー2〜4人を1泊で受け入れていることだ。受入れ農家には1組の受入れで5千円還元されるのだが、都会の人とのつきあいに喜びをみだしており、金の問題ではないと仰る。

## 委託する農家と受託する農家の分化

最後に小砂集落を概観すると、戸数200戸のうち150戸が農家であるが、その半分の70戸が農業を継続しているにすぎない。他の半分は藤田さんのように、認定農業者に耕作を委託し、草刈を行うのみの農



1～3：小砂の農村風景／4：小砂Village協議会の藤田悦男さん



「つなぐ棚田遺産」ののぼり

家になっている。このような現象は最近探訪した新潟県上越市清里区棚田や山形県遊佐町白井新田などでも同じようにみられたが、3地域とも圃場整備が行われた棚田ということで共通している。問題なのは整備されなかった棚田であるが、多分その多くはすでに放棄されたものと考えられる。



美しい村Webサイト



美しい村季刊誌

【周辺情報①】  
小砂地区は「日本で最も美しい村」連合に加入しています（『美しい村』の加入条件の一つが「概ね人口1万人以下」であり、町としては加入していません）。  
大同元年（806年）に開山された東光寺、大治4年（1129年）に創立された示現神社などの歴史的建造物が点在し、温泉も湧出する緑豊かな里山。小砂焼の伝統を受け継ぐ7軒の窯元、断面が菊の花びらのように美しい菊炭など、地元の資源を生かして「芸術と文化の里づくり」に取り組んでいます。

## 【周辺情報②】

那珂川町は馬頭町と小川町が合併して2005年に誕生しました。小砂地区の南に隣接する旧馬頭町小口地区の梅平では、山の棚田を会場として2011年から毎年10月に馬頭琴の音楽会が開催されています。都会からこの地区に移住した工芸作家の夫婦が、身近な棚田の風景とそこを耕す農家に惚れ込み、縁あって馬頭琴奏者につながり、野外

コンサートを開くようになったそうです。コロナ禍で中止を余儀なくされましたが、2023年に再開。次回は2025年秋に予定されています。



2023年コンサートのチラシ  
<https://satomoribito.wixsite.com/miho>

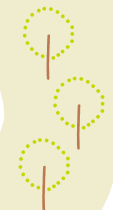
## 棚田へのアクセス

### 栃木県 那珂川町



【公共交通】JR烏山線・烏山駅前からタクシー利用で棚田まで約25分

【自動車】東北自動車道・矢板ICより県道343号経由で棚田を目指す。付近に目標物が乏しく分かり難い。ICから約30km



「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください！ご要望、感想やご質問でもOK！（声800字まで、レポート400字まで、写真も添えて）  
〒160-0003 東京都新宿区西新宿七ーハー六  
トーションハイム新宿七〇四号「棚田に吹く風 読者のひろば」宛  
メールでも受け付けています ↓ [hensyuun@tanada.or.jp](mailto:hensyuun@tanada.or.jp)

## 小さな経験を積む場所に

「江田の棚田」エタノホ  
植田 彰弘



近年、地方創生の先進地として名が広がっている徳島県神山町。最近では「神山まるごと高専」の設立に伴い町内が活気に溢れています。

私たちが活動する「江田の棚田」は町内でも有数の景勝地ですが、高齢化に伴う耕作放棄地の増加など諸課題により集落の士気は下降しています。筆者は2012年に神山町へ移住、初めて棚田を見た時の感動は今でも忘れず、集落の皆さんが手をかけ受け継いできたこの場所を守りたいという思いが芽生えます。

以降、田植えや稲刈りなど体験事業を中心とした棚田との関わりを持つなかで、ある日筆者の師匠から「棚田の景観はイベントや草刈りだけで守れない」と伝えられました。その場所で暮らし、一人ひとりの営みが重なって景観が生まれることを教えられ、その日を境に、集落の暮らしに目を向け、小さな経験を大切に、住民と一緒に汗をかく作業を率先して行ってきました。そして、集落での経験から学んだ知恵や技術を次世代に繋いでいくことを目的と

した任意団体「エタノホ」を設立します。

日々の暮らしを大切にする一方、エタノホの活動でやりがいを感じているのは「棚田で若い世代と交流すること」です。

神山町には遠方から県立高校（城西高校神山校）に通いたい高校生のために設置された町営寮（通称「あゆハウス」）があり、2019年から寮に住む生徒が棚田に足を運んでくれます。5月には人力代掻きを恒例イベントとし、泥だらけになって田んぼを駆け巡る姿は、集落の皆さんに明るい話題を届けられました。「今年の高校生は声が大きくて元気じゃのう！」と毎年声をかけてくれることも。

若い世代が棚田と触れ合うことは、集落にとってかけがえのない宝。いつの日かこの場所で活動した高校生が、棚田を守る担い手として活躍してくれることを願い、師匠から学んだことを胸に1日の小さな積み重ねを大切にしていこうと思います。



## 読者の Best Shot!

坂の上は、雲ではなくて棚田だった！

新潟県長岡市木沢集落

東京都品川区 永瀬 孝

2011年8月、我々5名は2005年中越地震の震央部である木沢集落に入った。が、震災後6年の歳月に地震の傷跡は消され、素人目には殆んど判別出来なかった。

さて、この写真を見ると何故か『坂の上の雲』（司馬遼太郎作）を思いだす（後にNHKでドラマ化されたが、2024年10月4日より毎週金曜夜にNHK・BSで再放送の予定）。小説は明治という時代を、このBest shotは棚田への坂道を登ろうとする者達を映している。13年前、トップに行く中島代表（当時77歳）をはじめ3役員とも皆、気持ちちは若かった。



# 棚田に思う



会員さんから寄せられた  
「棚田に思うこと」を語っ  
てもらいます。

東京都中央区 岡 敦子

「棚田」に何故そこまで惹かれるのか？いまだに謎である。

学生時代、旅のパンフレットで能登千枚田の写真を見て、「いつかここを訪ねる」と決めた。最近では、ネットで「棚田」を検索し、眺めてはワクワクし、「必ずここに行こう」と駆り立てられるのだ。

年に数回夫と旅をするが、旅先では近くに棚田がないかを調べ、夫に車を出してもらっている。大抵の棚田は交通の便が悪いところにあるので夫の運転はありがたい。

2023年末には、「西郷どん」のロケ地「小牧の棚田」を訪ねた。晴れていれば遠くに見えるはずの桜島が雲に隠れて見えなかったのは心残りであつたが、素朴な風景に心洗われ、遠方からはるばる来たかいがあつた。

今年3月には、奈良県の「吉隠の棚田」を訪ねた。桜井駅から長谷寺に向かう近鉄の線路沿いの風景は、棚田ファンには必見である。「吉隠」という地名は、万葉集で穂積皇子が、最愛の但馬皇女の死を悼んで詠んだ歌

「降る雪はあはにな降りそ 吉隠の猪養の岡の寒からまくに」

に登場する。皇女の墓がある「猪養の岡」に降り積もる雪を見て「そんなに降らないでくれ。寒いだろうから」と嘆き悲しむ穂積皇子の気持ちは想像するだけで泣けてしまう。その皇女の墓があるといわれる「吉隠」はきつとあの辺りなのだろうか？と、万葉の世界に思いを馳せつつ、棚田の風景を楽しむことができた。

そして、8月にはしまなみ海道の旅の帰りに、つなぐ棚田遺産に認定された「雨滝音田の棚田（愛媛県）」を訪ねた。どこまでも続く緑が眩しかった。

これからも「棚田」を求めて日本各地を旅することだろう。この会報誌の読者の皆様ともどこかですれ違っているかもしれないと思うとまたワクワクする。



小牧の棚田



吉隠の棚田



雨滝音田の棚田



雨滝音田の棚田

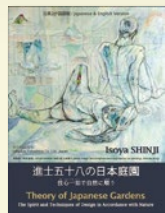
## 編集部イチオシ! BOOK & MOVIE



進士五十八の日本庭園

技心一如で自然に順う

日英2か国語版



進士五十八 著  
3,300円(税込)  
市ヶ谷出版社  
2024年4月

日本庭園の中にも棚田がある。その代表的な事例が京都の修学院離宮庭園である。江戸時代初期、後水尾天皇が造らせた庭で、棚田の中の松の並木が印象的な田園風景式庭園である。

目次立ては大きく①庭園と日本庭園の概論―思想と歴史、②日本庭園の空間構成と技法、③日本庭園30ヶ所の鑑賞ポイント、の3つに分かれている。日本庭園の特質はサブタイトルにあるように「自然に順う」、つまり、大自然を学習し模倣する「自然学習性」、言い換えると再生的模倣であることが良く分かる。

なお、日本語から英語への翻訳は実の娘とカナダ人の義理の息子によるもの。直訳ではなく日本と英語圏の文化的背景を考慮しながら「大局からの合理的説明」に翻訳されているのが良い。



第52回

# 棚田俳壇

令和6年

誌上添削

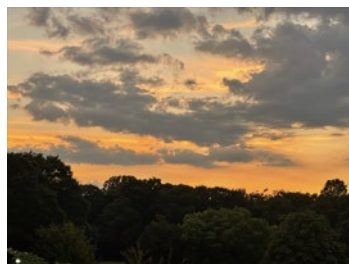
赤とんぼお寺参りに母誘う  
■ヒント  
「誘う」を未来でなく現実  
【次回募集は11月末日】解答例は下記

赤とんぼお寺参りに母誘う

ほいと投げはいと取る縮架 五段掛け  
天恵や二十四度の夏の朝  
寅さんの啖呵の切れや渡り鳥  
醉芙蓉酒 各導師の 姿まま  
松戸市 井上久志

台風湧き出る如く到来し  
季節ゆきつくくぼうし主役なり  
列島の至るところで秋出水  
こめ不足一人1個までほんとうか  
取手市 杉山行男

蝉しぐれ日暮となればかなかなに  
土砂降りも何ともうれしふつ東京  
日影道探して歩くふつ東京  
蠅叩き風鈴買つて暑気払い  
庭仕事西瓜つかれ晩む空  
鳩カラス木陰を選ぶ猛暑かな  
草も樹も我がもの顔で道塞ぐ  
ガザ人よ昨日の日欧米の二枚舌  
今朝の秋青柿落ちて 虫繁し  
調布市 高木宏明



夏の花畑（新潟県）

雨後の風何にも勝る暑気払い  
もう手上げ今生まれ出す秋の陽や  
朝露に不浄の手をば浄めけり  
遠花火あまたの記憶呼び覚ます  
写（柔らかに）麻の花群れノルマンディー  
浜松市 一露

新米や値段が怖し米騒動  
手を振りて助けを求む草刈り日  
炎天下畔で鎌振る戦さなり  
温暖化地獄の如き 暑き日々  
豊島区 小川順子

容赦なし攻めくる酷暑老いし身に  
高き空 季節の移ろい示しおり  
頭垂れ 水抜き谷津田にゲリラ雨  
早田刈り 意地悪台風と知恵比べ  
所沢市 上久保郁夫

青青と育つ子の如く学校田  
山の田や水不足にも 青青と  
青青と 田も山里も 夏来る  
田の面それぞれ青異なりて  
新潟市 田入絵人

新潟市 田入絵人



棚田ネットスタッフの  
つ・ぶ・や・き  
（輪番制）

今回のつぶやき人  
事務局  
ドラゴンフライ

2024年の夏は、フランスで国際的スポーツ大会が開催されましたね。深夜の観戦で、寝不足になった方も多いのではないのでしょうか。多種多様な競技がおこなわれましたが、多くの競技は「国際競技連盟」を結成し、普段から大会の開催や、普及活動などをおこなっています。ではそれらの中で一番加盟国・地域数が多いのは何でしょうか？それは意外にも卓球なのです。2024年8月現在、国際卓球連盟には227の国と地域が加盟しています。次いでバレーボール、バスケットボール、陸上競技、サッカーの順となっています（筆者調べ）。

ここまで加盟国・地域が増えた理由の一つに、国際卓球連盟の普及活動が挙げられます。卓球は長らく五輪種目ではなく、採用を目指して普及活動に力を入れたのと（1988年ソウル大会で採用）、それ以降も、少人数・低予算でできることもあり、途上国を中心に普及活動をおこなっています。

個人的に注目している地域は英国及び英領の地域です。サッカー等のようにイングランドなどの地域ごとに国際卓球連盟に加盟しているのですが、それにとどまらず、英国の「王室属領」といわれるマン島、ジャージー、ガーンジーの3地域も独自に加盟しています。卓球の発祥は英国貴族の遊びだという説が有力なので、筆者としては歴史の流れを感じずにはいられません。

英国の「海外領土」も勿論幾つか加盟していますが、直近では南米沖のフォークランド諸島（英国が実効支配、アルゼンチンも領有を主張、スペイン語名はマルビナス諸島）が加盟した為、かつてのピンポン外交のように、卓球が緊張緩和の一助になればと思っています。



## 岐阜県恵那市

### 棚田ビオトープ プロジェクト

#### 看板が新しくなりました



棚田ビオトープの看板が新しくなりました。2007年に棚田ビオトープを造営した際、手作り看板を設置。その後、朽ちてしまったため、再整備しました。昨年、その2代目の看板も朽ちてしまったため、新たな看板を設置しようと思ったところ、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)様の協力により、新たな看板を2024年3月に設置することができました。棚田ビオトープは棚田を展望する位置から見えるので、目立たないよう艶消しで背景色が緑色の看板にしました。3月の春分の頃に開催する「かえるの卵を探そう!」のイベントについても看板の中で言及しておりますので、よい宣伝になればと思います。

8月に予定していた「こどもビオトープ観察会」は諸所の事情により中止。9月23日には稲刈りを予定しています。米不足の中、貴重なお米となりそうです。インバウンドの海外旅行者の需要増という分析もありますが、それより日本の消費者はパンの価格が高くなり、米食の方がお得感があると感じているため、消費が増えているのではないのでしょうか。

(相田 明)

## 静岡県松崎町

### 石部棚田で昔ながらの米づくり

#### 棚田の草刈り・草取り



7月13日に今年1回目の草取り・草刈り作業をボランティア6名で行いました。雨予報だったのが幸いにも晴れたのですが、次の日はもう雨予報だったので、なんとか1日で作業を終わらせました。高温と雨が多かったので、相当な草を覚悟していました。畔の草はそれほどでもなかったのですが、今年はとにかくノビエが多く、その駆除に苦労しました。

また、8月末に予定していた2回目の草刈り・草取り作業が、台風10号の迷走の影響で延期。代替日が9月16日になり、急な決定にもかかわらず6名のボランティアが集まってくれました。田んぼは既に稲刈りのために水が抜かれていたので、田の草取りはもはややる必要がなく、なんとか1日で終わることができました。稲はだいぶ色づいて、畔には彼岸花もちらほら。次回は、オーナー田の収穫祭に合わせて10月5日・6日に稲刈り体験イベントを開催します!

(高桑智雄)

## 千葉県鴨川市

### 川代だより (稲刈り編)

#### 稲刈りをしてきました!



川代プロジェクトは、諸般の事情により今年は残念ながら参加を見送りましたが、地元のご厚意により、圃場を用意していただき、オーナー制の行事に合わせスタッフだけの参加で試行してきました。

会報の夏号の記事から日程を知り参加したいとの声があったことから、急遽、過去に参加した会員に稲刈り体験の呼びかけをし、当日(9月1日)は台風の接近、交通機関の乱れ等ありましたが、雨も降らず6名が参加していただき、これまでの雨でぬかるんだ田んぼで、足を取られながらも、地元農家さんにも手伝ってもらい必死で作業をし、午後3時過ぎにようやく稲架掛けまですることができました。

今年は猛暑でしたがお米の出来は良いとのことで、去年は出来なかったお酒づくりもできるかもとのことでした。世の中、米不足とのことですが、次週の脱穀も参加し早く新米を食いたいと思います。

(杉山行男・小川順子)

# 使いづらい、だけど美しい！ 始めてみよう『旧暦生活』

今年もできました！  
令和七年  
旧暦  
棚田  
ごよみ

月の満ち欠けでひと月を知り、太陽の動きで季節の移り変わりを感じていた「旧暦」での暮らし。  
旧暦棚田ごよみは、四季折々の美しい棚田の風景とともに、暦で「季節感」を味わうことのできる旧暦カレンダーです。

## 壁掛けタイプ

A4(縦210×横297mm) ※開くとタテA3サイズ



旧暦がわかる  
『ミニブック』  
付いています！



四季折々の  
棚田風景

二十四節気  
七十二候  
雑節を表示

注文サイト  
QRコード



新暦表示  
もあり！

月の  
満ち欠け  
イラスト  
入り！

5部セットがお得！  
贈答用にどうぞ！

¥1,300(税込)

5部セット

¥6,000(税込)

※送料は別途かかります。

ご購入は

TEL. 03-5386-4001 もしくは棚田ネットワークHPから  
●お電話受付時間 13:00 ~ 16:00 ※土日祝をのぞく

※このカレンダーは、旧暦の元日(令和7年1月29日)から始まりです。  
新暦表示は令和7年1月29日(水)から令和8年2月16日(月)までです。



## わたしたちと『棚田の応援団』、やりませんか！

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。  
消えゆく美しい“棚田”をどのように保全していくことができるのでしょうか? 一緒に考えませんか? ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう!

会員に  
なろう!

年会費

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか?

○個人会員

|      |             |
|------|-------------|
| 維持会員 | 1口1万円(1口以上) |
| 一般会員 | 4,000円      |
| 応援会員 | 3,000円      |
| 学生会員 | 2,000円      |

## 法人会員を募集しています!

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

○法人会員(賛助会員)  
1口3万円(1口以上)

編集部から

7月になって石部棚田に草刈り作業に行った。稲は青々と成長していたが、一部の田んぼの苗がごとごとく低くて葉も少ない。不審に思い保存会に聞くと、今年は鹿が多く田んぼに入って、稲の葉を食べてしまっている。電柵は基本、猪の鼻がぶつかる低さに設置されているので、鹿は余裕で飛び越えて田んぼに入ってしまうのだ。

9月の2回目の草刈り作業に行くと、3つの田んぼの中央に稲がなぎ倒され、鹿の通り道ができてしまっていた。これは収穫量にもかなりの影響が出そうだ。ただ今は大きな網を張る余裕もないので、これも自然の力、「シカ」たないことと諦める「シカ」ないのである。

## ホームページの姿を見よう!

棚田ネットのWebサイトも  
見てみてください!



<https://www.tanada.or.jp>



2024年 秋号 Vol.133

発行



認定NPO法人

棚田ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-18-16トーションハイム新宿704号

Tel / Fax 03-5386-4001

e-mail: [info@tanada.or.jp](mailto:info@tanada.or.jp) URL: [www.tanada.or.jp](http://www.tanada.or.jp)

郵便振替口座: 00100-7-151565